

3 福島県の検査結果

プレスリリース

暫定規制値を超えた放射性セシウムが検出された玄米について

平成23年11月16日

水田畑作課

福島市で生産され出荷されていない平成23年産米について、食品衛生法の暫定規制値を超える放射性セシウムが検出されたため、福島市を通じてこの米の出荷を自粛するよう当該生産者及び関係流通業者に要請しました。

また、安全が確認されるまで、当該米の生産地である福島市大波地区（旧小国村）の本年産米の出荷を見合わせるよう併せて要請しました。

1 検査結果

単位：ベクレル／kg

種類	放射性セシウム合計	放射性セシウム134	放射性セシウム137
玄米	630	280	350
白米	300	130	170

2 生産ほ場の概要

水田面積：26アール 収穫量：840kg 品種：コシヒカリ

3 経過

(1) 11月14日に福島市大波地区（旧小国村）で生産された玄米を、生産者の依頼によりJA新ふくしまの簡易分析器（NaIシンチレーションγ線スペクトロメータ）で分析した結果、暫定規制値を超える値が検出された。

(2) このため、同日、当該玄米を福島市放射線モニタリングセンターのゲルマニウム半導体検出器で再度分析したところ、同水準の値が検出されたことから、同日夕に県に連絡があった。

(3) 市から連絡を受け、県は15日に、この生産者の玄米を米の放射性物質調査本調査の方法に準じてサンプリングし、本日までに県農業総合センターで分析を行った結果、暫定規制値を超える630ベクレル／kgの放射性セシウムが検出された。

4 暫定規制値を超える放射性セシウムが検出された米の取扱い

(1) 当該生産者の平成23年産米は、全量（840kg）JAの倉庫及び生産者の自宅に保管されていた。

(2) ただちに出荷の自粛を要請したため、この生産者の米は流通していない。

5 福島市大波地区の米の流通販売状況

(1) 大波地区の概要

大波地区 稲作農家数 : 154戸
水稲作付面積 : 42ヘクタール
生産量 : 約192トン (約6,400袋 (30kg入り紙袋))
(福島市全体 稲作農家数 : 5,545戸 稲の作付面積 : 2,312ヘクタール)

(2) 当該地区の平成23年産米は、これまでの調査の結果 (86戸調査済)、J A新ふくしまへの出荷、自家保有米、縁故米のほか4人が地元米穀店等に出荷している。

- ・ J A新ふくしまに販売委託 (契約含む) 1,921袋 (57.6トン)
- ・ 自家保有米 1,214袋 (36トン)
- ・ 縁故米 274袋 (8トン)
- ・ 地元米穀店等に販売 30袋 (1トン)

6 県産米の流通状況

平成23年産米は、J A全農福島や各J Aでは、放射性物質調査で放射性セシウムが検出されていない地域の米 (不検出米) とそれ以外の米を区分して集荷するとともに、不検出米のみを販売している。

また、その他の地域の流通業者は、不検出米のみを買い付けしているため、現時点で、暫定規制値を超える玄米が一般消費者に流通する可能性は極めて低いと考えられる。

7 今後の対応

(1) 県産米の安全性確保の観点から、引き続き状況の把握に努めるとともに大波地区では、全戸について調査を実施し、実態把握と原因究明を行う。

(2) 米の取扱いについては、厚生労働省や農林水産省とも連携を密にして適切に対応していく。